

平成22年度 宇都宮市立城山中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

- (1) 心身ともに健康な生徒 (2) 創造性に富む生徒 (3) 心情豊かな生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

心豊かでたくましく生きる人づくりを推進するための指針として策定された「宮っ子未来ビジョン」を踏まえ、21世紀を生きる生徒に必要な能力や態度を育むため、教育内容の充実、学校運営の改善、教育環境の整備、新たな学校教育システムの構築に努め、新しい時代にふさわしい学校教育を進める。

3 学校経営の方針（中期的視点）

- (1) 教育課程の円滑な実施を図り、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成に努める。
- (2) 学習・生活の両面において、基礎的・基本的な内容の指導の徹底を図り、生徒一人一人の能力・特性の伸長に努める。
- (3) 教師と生徒との人間関係を大切に、生徒一人一人の理解を深め、個に応じた適切な指導ができるように努める。
- (4) 快適な学校環境づくりに努めるとともに、よき伝統と創意を生かしながら、特色ある学校づくりを目指す。  
・教育活動の関連を図り、見通しをもった具体計画のもと、特色ある学校づくりを推進するとともに、小中ジョイントプログラム研究推進校としての実践を進め、社会性の育成に努める。
- (5) 保護者や地域、関係機関・団体等との連携を密にし、相互の信頼関係に立って教育にあたるとともに、開かれた学校づくりに努める。

4 今年度の重点目標（短期的視点）

- （学校運営）「豊かな心を育てる地域交流活動の推進」  
 （児童生徒指導）「思いやりの心を持ち、きまりを守る生徒の育成」  
 （健康・体力）「健康を適切に管理する生活習慣の形成」  
 （学習指導）「一人一人の学習意欲が高まる「わかる授業」の展開と家庭学習の習慣づくり」

5 自己評価（Aは共通評価指標、Bは学校独自評価指標）

（評価指標の〔全〕は、全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「自分は、今の学校が好きである」 ⇒生徒の肯定的回答90%以上	①学校行事の実施にあたっては、生徒が目的意識をもち、自発的・自主的に活動できるように指導体制を整え支援する。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答は85.6%で、数値指標を達成することができなかった。また、昨年度よりも4ポイント減少した。 学校では、地域や保護者の協力を得ながら、大谷石加工・水田耕作や地域探索などの体験活動を充実させ、体育祭や合唱コンクールの生徒の振り返りでは、多くの生徒が達成感を感じていることが認められた。 【次年度の方針】 ①学校・学年行事等の実施に際しては、目的意識がもてるような手立てを工夫し、成果を振り返ることができるようにする。 ②すべての教育活動の中で、よりいっそう生命や人権を尊重する態度を確認しながら指導を行うようにする。
		②道徳の時間と学級活動でいじめを題材とした授業を実施することにより、生命や人権を尊重する態度を育成する。	B	
		③年間を通して50分授業を行うとともに、出張の際に授業交換などをして、実授業時数を確保する。	B	
	A2 教職員は、組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。〔全〕	①職員室内に「研修図書コーナー」を設け、図書を活用して、理論的な裏付けを持った教育実践を行う。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答は88.0%で数値指標を達成することができた。 学習の流れを生徒が理解し、円滑に授業が

<p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、大切なことをしっかりと教え、熱心に指導してくれる」 ⇒生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>②生徒指導チェックシートを作成し、職員の共通理解を図るとともに足並みを揃えた指導・支援を行う。</p>	<p>進められるよう教科の授業開きガイダンスを行ったり、数学科などで習熟度別学習による個に応じた指導をしたりして、学習内容の定着に努めた。 【次年度の方針】 ①教科指導や領域の書籍を購入し、新学習指導要領に即した指導ができるようにする。 ②生徒指導チェックシートを活用し、実態に応じたきめ細やかな指導に努める。 ③定期的に情報交換を行い、スクールカウンセラー等と連携しながら、問題行動の早期発見・早期対応に努める。</p>
<p>A3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>①3分前チャイム着席や電波時計による授業開始と部活動終了時刻を厳守する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は、100%で数値指標を達成することができた。 3分前チャイム着席や、授業開始時・終了時のあいさつなどは大半の生徒ができています。また、健康や安全に注意し、規律ある学校生活を送ることもできています。</p>
<p>A4 分かる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>②朝の会や学校行事の前に、身だしなみチェックを家庭と連携して行うことで、規範意識を醸成する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は80.8%で、目標を達成することができた。 数学科や英語科等においては、授業内容や生徒の実態に応じてTTの役割分担を工夫し、支援の必要な生徒によりきめ細やかな指導を行った。</p>
<p>A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート「自分は、学校での生活や様々な活動が充実している」 ⇒生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①「生徒の学習状況の把握」「学習状況に応じた取組」「実施状況」「生徒の改善状況」を「授業実践報告」の形で毎週振り返ることにより、より分かる授業を研究実践し、確かな学力を身につけさせる。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は83.8%で、目標を達成することができた。 前年度の課題に対し、対策をたてて計画を作り、全職員の共通理解のもと、よりよい行事を実施した。</p>
<p>A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。〔全〕</p>	<p>②教育課程表を基準とし、進捗状況を確認しながら、特別時間割等で軌道修正を図り、教育課程を適正に実施する。 ②前年度の課題と解決策を明確にした企画書・実施計画書をもとに、よりよい行事を実施する。</p>	<p>【次年度の方針】 ①学習掲示物を活用するなどして、基礎的な事項の定着を図る。 ②大型テレビ等視聴覚教材の利用を工夫し、わかりやすい授業を展開する。 ③単元や生徒の実態に応じて指導形態を変えるなどして、きめ細やかな指導を行う。</p> <p>【達成状況】 数値指標 80%のところ保護者の肯定的回答は 87.9%を示しており、概ね達成できていると思われる。 「学校だより」「学年だより」「保健だより」「給</p>

<p>学校運営の状況</p>	<p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>②「校長だより」「学年だより」「学級通信」等を定期的に発行することにより、情報を積極的に提供する。</p>	<p>食だより」等の発行や、「あったか活動発表会」「ふるさと学習発表会」の開催等により、学校の情報提供や公開を積極的に行い、保護者・地域に対して本校の教育活動の一層の理解を図ることができた。</p> <p>【次年度の方針】 ①これまでの学校行事や公開授業のほかに、各学年の出前授業においても、保護者の参観を積極的に呼びかけ、本校の豊富な教育活動をアピールする。さらに学校公開の日などを設けることが考えられる。 ②本校の教育活動のどのような点が知りたいかなどを事前に調査し、保護者や地域のニーズを反映させた各種通信・たよりを作成し発行する。</p>
	<p>A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。[全] 【数値指標】 全体アンケート「学校と家庭、地域、企業等が連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①地域指導者や外部講師と連携した授業や体験活動を行うことにより、専門的な知識や技術を身に付けさせる。 ②「城山中学校地域協議会」を有効活用して、学校運営を充実させる。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は100%で、数値指標を達成することができた。 総合的な学習の時間を中心として、さまざまな分野において外部講師を積極的に活用した学習活動を展開した。</p> <p>【次年度の方針】 今後とも、総合的な学習の時間を中心に、地域指導者や外部講師と連携した学習活動を実施する。</p>
	<p>A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。[全] 【数値指標】 全体アンケート「学校は清掃が行き届き、学習しやすく潤いのある環境である」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①校内美化コンクールの実施により、校内をきれいにする。 ②安全点検、常時点検により、施設・設備の修理・修繕・更新を速やかにし、安全・安心な環境づくりを行う。 ③事前の説明や事後の振り返り等、教育活動と結びついた効果的な掲示など、環境構成をする。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は80.5%で、数値指標を達成することができた。 美化コンクールや生徒会朝会など、委員会活動を積極的に行うことができた。</p> <p>【次年度の方針】 美化コンクールを引き続き実施する。実施に際しては、事前に生徒会朝会で説明するなど、コンクールがより効果的に行えるようにする。</p>
	<p>A9 学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている。[全] 【数値指標】 全体アンケート「学校は教職員が互いに指導力向上に取り組む、指導の工夫・改善に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①代表者の授業公開による校内授業研究会を実施することにより、授業実践力を向上させる。 ②生徒による授業評価（年2回実施）により、授業を振り返るとともに、指導法を工夫・改善する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は81.8%で、数値指標を達成することができた。授業公開を行い、教科の枠を超えた情報や意見交換の場を持つことで互いの指導力を向上させた。</p> <p>【次年度の方針】 ①校内授業研究会においては、より多くの教員が参加できる時期と持ち方を検討する。 ②生徒による授業評価を生かし指導法を工夫・改善する。</p>

	<p>B1 各自が主体的な校務運営を行うことにより、組織的なマネジメント力の向上に努める。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「『城山中学校5つの宣言』に基づき、企画書、実施計画書、アクションプランを作成するなどして、組織的なマネジメント力の向上に努めた」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「城山中学校5つの宣言」により、学校教育スタンダードを自校化するとともに、重点目標を周知・徹底する。</p> <p>②「行動規準表」に対応した企画書、実施計画書、アクションプランを作成する。</p>	<p>【達成状況】 数値指標 80%のところ、教職員の肯定的回答は100%を示しており、教職員の意識としては十分達成されていると言える。 企画書等の作成を通して職員が各々校務運営に主体的に取り組んだ。</p> <p>【次年度の方針】 ①年度当初に「城山中学校5つの宣言」を校務別のグループで見直し、目標とそれを達成させるための教育活動を周知・徹底する。その上で各自が主務者として力を入れて推進すべき活動を確認し、年間活動の見直しを持つようにする。 ②企画書等は次年度に活用されることを前提に、実施後の反省や改善案などを加え作成し、累積・整理・保管して活用しやすくする。</p>
<p>教育活動の状況</p>	<p>A10 自ら進んであいさつし、気持ちのよい言葉づかいをしている。 〔全〕 【数値指標】 全体アンケート「生徒はあいさつをしている」 ⇒地域住民の肯定的回答 70%以上</p>	<p>①生徒会主催のあいさつ運動や地域交流を充実させ、地域との連携を図りながらあいさつを励行する。 ②丁寧な言葉づかいについて指導するとともに、教職員がその範となるようにする。</p>	<p>【達成状況】 地域住民の肯定的回答は92.3%で数値指標を達成することができた。 生徒は、来校者や教職員、友だち、地域の方に対して、元気なあいさつができる。</p> <p>【次年度の方針】 ①地域や地区内小学校と連携しながら、あいさつ運動の充実を図る。 ②相手や場に応じた言葉遣いを身につけさせるとともに、教職員がその範を示すよう努める。</p>
	<p>B2 自分を発信することにより、居がいのある学校生活を送っている。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、学校行事の川柳づくりで行事を振り返り、表現している」 ⇒生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①学校行事等に係る川柳を作り掲示することにより、相互理解を図り、自己存在感を醸成させる。 ②「楽しい学校生活を送るためのアンケート」結果を活用し、居がいのある学級づくりを行う。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は89.2%で、わずかながら数値指標にはとどかなかった。 生徒の作品を校内に掲示することにより、相互理解や自己存在感の醸成ができた。</p> <p>【次年度の方針】 ①川柳づくりの際に担任が添削したり、欠席生徒に配慮したりして適切な掲示に努める。 ②「楽しい学校生活を送るためのアンケート」結果をもとに、全職員で共通理解を図り、配慮生徒への指導・支援が適切に行えるよう努める。</p>
<p>健康・体力</p>	<p>A11 毎日朝ごはんを食べ、栄養のバランスを考えた食生活をしている。 〔全〕 【数値指標】 全体アンケート「自分の子どもは、朝ごはんを食べ、好き嫌いなく食事をしている」</p>	<p>①「給食だより」「献立表」「保健だより」を通して、生徒や保護者に食の大切さを啓発し、望ましい食生活を指導する。 ②給食の時間での一口メモの放送やバイキング給食、お弁当の日の指導により、考えながら食べる習慣を身に付けさせる。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は85.3%で、数値指標を達成することができた。 各種たよりでの啓発のほか、生徒会給食委員会での活動や、給食指導やお弁当の日の実施により食に関する指導の充実を努めた。</p> <p>【次年度の方針】 ①第2学年保護者会で、親学として「食」に</p>

	る」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	③ランチルームの整備やマナー指導・学校栄養職員による「食育出前授業」で栄養指導を充実させる。	B	関する出前講座を引き続き実施し、保護者への啓発活動とする。地域協議会食育部会や学年PTAと連携し、地元人材を活用して開催する。 ②ランチルームの活用と学校栄養職員による栄養指導を充実する。
	B3 自分の体力に応じた運動の習慣づけをするとともに、健康に気を配っている。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、元気っ子健康体力チェックの結果に基づき、体力づくりをしている」 ⇒生徒の肯定的回答 70%以上	①「元気っ子健康体力チェック」の結果をもとに、体育や部活動において、発達段階や自分の体力に応じた体力づくりに取り組むよう指導する。 ②専門家を活用した喫煙・飲酒・薬物等の防止教室や性教育講座を実施し、発達段階に応じた継続的な指導を行う。	A   B	【達成状況】 生徒の肯定的回答は75.7%で、数値指標を達成することができた。 体育の授業や部活動で補強運動を取り入れるなどしたため、「元気っ子健康体力チェック」の結果は上昇傾向にある。  【次年度の方針】 ①体育や部活動において、強化する活動を取り入れる。また、第1学年保護者会で結果と結果に応じた取り組みについて保護者に知らせる。 ②教材の工夫や専門家を活用した出前講座の活用により、指導の充実を図る。
学 習	A12 授業に意欲的に参加し、基本的な学習態度・技能が身に付いている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、先生や友達の話をよく聞くなど落ち着いて学習している」 ⇒保護者の肯定的回答 70%以上	①定期テストの結果分析並びに生徒の実態に応じたアドバイスを書き入れた「アドバイスシート」を配布することで、つまづきのあった問題について学習支援を行い、基本的な学習態度を身に付けさせる。 ②話の聞き方、発表の仕方、ノートを取り方など、授業開きガイダンスを中心に指導を行い、基本的な学習態度・技能を徹底する。 ③適度な宿題を出し、家庭学習の手引きやスタンダードダイアリーを活用させたりして、家庭学習を習慣化させる。	B   B  B	【達成状況】 保護者の肯定的回答は66.5%で、数値指標を達成することができなかった。一方、教職員の肯定的回答は95.4%であり、開きが見られた。 教職員の日常の観察では、落ち着いて学習に取り組む生徒の様子が認められる。  【次年度の方針】 ①話の聞き方、発表の仕方、ノートの取り方など基本的な学習態度が十分身に付くよう指導を徹底する。 ②定期テスト後、つまづきが多かった問題についての学習支援を行う。
	B4 「朝の読書」により読書の楽しさを味わうとともに、思考力・想像力を身に付ける。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、朝の読書により、読書に親しんでいる」 ⇒生徒の肯定的回答 80%以上	①朝の読書を日課表に位置づけるとともに、移動図書や読書記録カードを活用したり、学習との関連をはかたりし、読書活動を充実させる。 ②外部講師による「読み聞かせ」を実施し、読書の楽しさを味わう機会を設ける。	B  B	【達成状況】 生徒の肯定的回答は85.9%で、数値指標を達成することができた。 移動図書では生徒の意見を反映した本を準備し、また外部講師による読み聞かせを実施するなど、読書に親しませその楽しさを味わう機会を持たせた。  【次年度の方針】 ①朝の読書や外部講師の読み聞かせを継続して実施する。 ②多読されている本を紹介するなど、読書の啓発を行う。
本 校 の	B5 地域との交流から、思いやりや地域貢献といった社会性の育成を図る。	①福祉教育、地域貢献の視点から、思いやりの心を育む道德の授業を実践する。	B	【達成状況】 数値指標80%のところ職員の肯定的回答は100%を示し、職員の意識上は十分に達成して

<p>特色・課題等</p>	<p>【数値指標】 全体アンケート「道徳、特別活動、総合的な学習の時間の連携を強化することにより、社会性の育成を図っている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>②道徳、特別活動、総合的な学習の時間の連携の強化を図り、体験活動と育てたい社会性を明確にし、生徒の発達段階に応じたカリキュラムの開発を進める。</p>	<p>いるといえる。 合唱コンクールや体育祭などに先立って関連する道徳の授業を実施するなど、学校行事と道徳との連携が図られていた。</p> <p>【次年度の方針】 総合的な学習に関連させた「地域貢献」や「郷土を愛する心」を育む道徳の授業実践をよりいっそう充実させる。</p>
<p>B6</p>	<p>地域探索活動を通して、自主的・実践的な態度と問題解決能力を養う。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、ふるさと学習で地域のことについて調べることにより、問題解決能力を養っている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①総合的な学習の時間における「ふるさと学習」での地域探索活動では自治会等との連携を深めるようにしたり、地域の外部講師による授業「ふるさと講座」を充実（水田耕作学習、大谷石加工体験など）したりする。</p>	<p>【達成状況】 数値指標 80%のところ保護者の肯定的回答は 72.8%であり、数値目標は達成されていない。 一方、生徒の肯定的回答は 91.3%であり、ふるさと学習の3年間の振り返りでは「3年間のふるさと学習を通して、調査・まとめ・発表などの力が格段に身についた。」という声が数多く寄せられた。</p> <p>【次年度の方針】 ①地域探索活動に向けた計画や事前の調査に当てる時間を十分に確保する。 ②課題設定→情報収集→整理・分析のサイクルを繰り返したり、より興味や関心を抱ける事項へテーマを変更したりするなど柔軟な学習ができるようにする。</p>
<p>B7</p>	<p>地域との交流活動や地域貢献活動から、郷土を誇りに思い、愛する心を養う。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、城山クリーンアップやあったか活動などにより、地域のために活動している」 ⇒地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「城山クリーンアップ」の活動により地域との連携を図り、清掃活動を通して地域貢献をする。また、夏休みに「あったか活動（あったか班＝縦割り班）」を実施し、地域交流活動を活性化する。</p>	<p>【達成状況】 数値指標 80%のところ、地域住民の肯定的回答は 100%であり、十分達成できていると考えられる。 特に「あったか活動」は生徒によって自主的に運営される面が多く、リーダーとしての活躍を求められる3年生に大きな達成感を抱かせることができた。</p> <p>【次年度の方針】 実施時期を検討し活動の意義を生徒に十分理解させると同時に、道徳との連携を図り、地域貢献の精神や郷土を愛する心を育てるようにする。</p>

〔総合的な評価〕

〔教育全体の状況〕

- 教職員は、教科の授業開きガイダンスを行ったり、習熟度別学習による個に応じた指導を実施したりするなどして、学習内容の定着に努め、教育に熱心に取り組んでいる。
- 生徒は、3分前チャイム着席や、授業開始時・終了時のあいさつなどをきちんと行うなど、授業と生活のきまりやマナーを守るとともに、健康や安全に注意し、規律ある学校生活を送っている。
- 地域や保護者の協力を得ながら、大谷石加工・水田耕作や地域探索などの体験活動を充実させ、多くの生徒に達成感を味わわせることができた。

#### [学校運営の状況]

- 総合的な学習の時間を中心として、外部講師を積極的に活用した学習活動を展開した。
- 「学校だより」「学年だより」「保健だより」「給食だより」等の発行や、「あったか活動発表会」「ふるさと学習発表会」の開催等により、学校の情報提供や公開を積極的に行い、保護者・地域に対して本校の教育活動の一層の理解を図ることができた。
- 美化コンクールの実施などをおし、校内は、学習にふさわしい環境となっている。

#### [教育活動の状況]

##### ① 生活

- 生徒は、来校者や教職員、友だち、地域の方に対して、元気なあいさつができる。

##### ② 健康・体力

- 各種たよりでの啓発のほか、お弁当の日の実施等により、食に関する指導の充実が図られ、食に関する意識を高めることができた。

##### ③ 学習

- 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。

#### [本校の特色・課題等]

- 「城山クリーンアップ」や「あったか活動の活動」等、地域交流活動や地域貢献活動を積極的に行い、郷土を誇りに思い、愛する心を養うことができた。

## 6 学校関係者評価

- ほとんどの項目で数値指標を達成できたのは、すばらしいことである。日常の教育活動の成果のあらわれだと思う。
- 数値指標を辛うじて上回ったという取組については、今後さらに努力を積み重ねてほしい。
- 学校の具体的な取組が見えにくいところがある。「主な具体的な取組」の欄の記載内容を改善する必要がある。
- 家庭や地域で、乱暴な言葉遣いをする子どもを目にする。まず、家庭での言語環境を整える必要がある。
- 子どもは大人の姿をよく見ている。大人がまずルールをきちんと守ることが大切である。
- 子どもは、様々な教育活動を通して地域のことをよく理解している。一方、地域のことをよく知らない保護者が見受けられる。保護者も広く地域のことを知る必要がある。

## 7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

- 地域ぐるみのあいさつ運動を実施する。
- 行事等の実施に際しては、生徒が目的意識を持てる手立てをさらに工夫し、成果の振り返りが十分できるようにする。
- 話の聞き方、発表の仕方、ノートの取り方など基本的な学習態度が十分身に付くよう、さらに指導を徹底する。
- 地域探索活動については、計画や事前の調査に当てる時間を十分に確保するなどして、取り組みをさらに充実させる。